

平成28年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
認知症多職種連携講演会～早期発見・早期治療につなげるために～

【開催日時】平成28年10月21日（金）18:30～20:30

【開催場所】エクセレントガーデン迎賓館（直方市頓野4069-9）

【内 容】総合司会 南川喜代晴 先生（福岡県認知症医療センター直方中村病院 院長）

・講演1『認知症医療センターの活動報告』

演者 葉室 （福岡県認知症医療センター直方中村病院 精神保健福祉士）

・講演2『認知症は「かかりつけ医」が診る』

演者 輪田順一 先生（医療法人福泉会 みずほ内科・歯科クリニック 内科医長）

・グループディスカッション

【主 催】ヤンセンファーマ株式会社

7月頃、ヤンセンファーマ株式会社から「認知症多職種連携講演会」の提案があり、南川院長・ヤンセンファーマ株式会社の担当者と協議を重ね、開催に至りました。参加者数は29名、職種や所属機関は以下の通りです。

参加職種		所属機関		
医師	4名	医療機関	8ヶ所	13名
薬剤師	2名	訪問看護ステーション	5ヶ所	6名
看護師	9名	居宅介護支援事業所	4ヶ所	8名
作業療法士	1名	調剤薬局	1ヶ所	2名
歯科衛生士	1名	計	18ヶ所	29名
ソーシャルワーカー	4名	/		
介護支援専門員	8名			
計	29名			

講演1では、8月9日開催の「平成28年度 第1回認知症地域連携協議会」にて報告しました活動報告を福岡県認知症医療センターの役割とともに、説明等を行いました。これまで、福岡県認知症医療センターの役割等は、外部でも説明をさせていただく機会はありました。今回は、その説明に加え、活動報告をさせていただく良い機会となりました。

講演2では、みずほ内科・歯科クリニック輪田先生から「認知症のおさらい」として認知症の病型等や、普段の外来での対応等の講義がありました。講義の中で「かかりつけ医は認知症を頭の隅に置いて診療する必要性」や「医師だけではなく家族、コメディカルスタッフ、介護スタッフ、行政との連携の重要性」に関する内容が印象的でした。

その後、グループディスカッションの症例をフロアーの方々に提示を致しました。今回の症例は、認知症初期集中支援チームの訪問支援対象者（個人が特定されない様に生活歴・病歴等の一部変更、また、グループディスカッション後に資料回収を致しました）でした。職種毎にグループワークを行い職種の専門性を感じる発表も聴かれました。また、「なるほど!」「たしかに・・・」と気づきを得る機会にもなりました。次回は、グループワークの時間が長めにあると更に良いかと感じました。

最後に、今回、貴重なお時間をいただき、また開催の調整にご尽力いただきましたヤンセンファーマ株式会社の担当者様・所長様に感謝申し上げます。また、お忙しい中、ご参加いただいた皆様にも重ねて、感謝申し上げます。ありがとうございます。（葉室）